

令和5年
4月9日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

佐野市選挙区

栃木県選挙管理委員会



無所属

横田 誠

昭和51年6月9日生(46歳)

想いをかたたちに
未来へつなぐ!

46歳

5つの提案



①「子どもが主役のまち」を未来につなぐ

- 妊娠・出産・巣立ちまでの伴走型子育て支援の充実 ○特別支援学校の設置検討
- ヤングケアラー対策と支援充実 ○里親制度の推進と家庭養護の充実支援
- 部活動の円滑な地域移行の推進と受け皿スポーツ団体等への支援強化
- 手段として学ぶ英語学習の環境整備 ○公立夜間中学の設置に向けた取組の推進
- (仮称)郷土愛プロジェクト「地域を愛するキャリア教育」の推進
- 医療的ケア児の支援強化

②「快適な回遊性の高いまち」を未来につなぐ

- 中山間地域と市街地を結ぶ利便性の高い道路網の整備
- 安全で快適に通行できる自転車通行空間の整備
- 自然食・伝統文化・スポーツなど、佐野らしさを活かした地域資源をつなぐツーリズムの推進
- 作原入線整備促進による、県域を越えた経済・文化交流の支援強化

③「健康で自分らしく生きられるまち」を未来につなぐ

- 認知症やがん患者、子育ての悩みなどを生活のより身近な場所で相談できる居場所づくり
- 介護職、医療従事者の処遇改善とやりがいの創出 ○地域包括支援システムの強化支援
- 県がリードするコミュニティナースの導入検討
- 栄養(食・口腔)、運動、社会参加によるフレイル予防強化で目指す健康長寿県内一

④「稼ぐ力と地域価値の高いまち」を未来につなぐ

- 県がリードする産業団地の整備と中核企業誘致の支援強化
- アクティブシニアや女性の起業を後押しする伴走型起業支援の充実強化
- 農業の福祉力を活かし、障がい者就労の場を創出するユニバーサル農業の促進
- 農業・林業に従事する人材確保と育成の強化

⑤「強く優しい元気なまち」を未来につなぐ

- ICT機器を活用した効率的・効果的な鳥獣害対策の強化
- 有事に備えた堤防強化・河道浚渫・立木伐採 山腹工事・森林整備工事などの強化充実
- 防災や経済交流など広域的発展に向け、渡良瀬川及び利根川への新たな架橋を含む広域幹線道路の整備促進

経歴：佐野日本大学高等学校を経て日本大学卒、佐野市議会議員3期
 歴任：佐野市消防団、佐野市あそ商工会青年部
 (一社)佐野青年会議所、佐野市立田沼小学校PTA会長

「栃木県は宇都宮と北ばかりだよなあ」

県央県北に集中する“選挙のための政治”ではなく、南に向けた施策推進により、北と南で**バランスのとれた県民のための政治**を実現させます！
 宇都宮50万都市一極集中よりバランスのとれた中核市実現により佐野から若者の流出を止めたい！国道50号バイパス沿線開発に加え、100ヘクタール規模の産業集積団地造成と先進企業誘致に向けて、新たな交通ビジョンと産業道路建設により**4つのインターがフル活用できる佐野**を実現させます！

「佐野に保健所がなくなって本当に困っているんだよ」

保健所がなくなるといってもない施策は許せない。直後のコロナ禍でもその弊害が市民の皆さんを不安にさせてしまった。
 しかも、県南は医師の数でも危機的状況になっている。ここでも県北と県南の格差が広がっている。離職を考える保健師さんが多いという中で、県と市が連携を取って業務の分散化と補完措置を強く訴え、**ひとりの命を大切にす政治**を実現させます！

「鳥獣被害が止まらないんだよ」

林野庁でも推奨する**里山再生事業を誘致**し、国のモデル事業として里山再生と生業事業推進により、自然豊かで美しい景観の奥佐野の魅力を広げていきます！
 サイクリストに向けた取り組みに加え、キャンプなどのレジャー分野を拡充。さらには、住居、農地の有効活用に加え交流人口そして移住定住人口の増加へとつなげていきたい！里山の役割を再認識させ、**人も鳥獣も暮らしやすい奥佐野**を実現します！



無所属

井川 かつひこ

昭和32年3月18日生(66歳)



今が変革の時!! ビジョン アクション 佐野に夢と勇気を

「人口減少ありきの施策で将来大丈夫なの?」

人口減少対策の施策が中心の今、明石市や流山市のように新生児数の増加、20代30代40代の人口比が大きいところには、やはり**子どもファーストの施策と、子育てをしながら働き続けることが出来る環境整備**が企業と行政の努力によって実現しているのです。好事例に学び、新たな企業進出、子育て世代のための住宅地造成、新たな小学校の建設、さらに税収増により豊かな住環境が整い**高齢者にもやさしい街づくり**を実現します！

「不登校児童生徒が全国で20万人も?」

全国で不登校児童生徒の数は20万人います。県単位では5千人近く、市単位では約200人、その中で不登校対策で救済できているのは約1割です。集団授業だけが教育ではなく、**インクルーシブ教育の根幹である個々の個性を尊重した教育体制**が必要になっています。
 時代に合わせた環境を整え、**ひとりも取り残さない教育**を実現します！

「日統一教会問題に対して政治家としてあまりに無知で大丈夫?」

政治家は謝罪と関係を断つだけで終わりですか？
救済のための相談窓口には専門家を配置し、ひとりとして苦しみ悲しむ人がないように取り組むことは政治家として当然のことである。
皆さんの勇気を胸に井川が行動します!!

投票日

4月9日(日)

- 投票所や投票時間に関しては投票所入場券を御確認いただくか、各市町の選挙管理委員会へお尋ねください。
- 投票日に、仕事やレジャーなどの用事のある方は、期日前投票をすることができます。

期日前投票ができる期間:4月8日(土)まで

○期日前投票所は、市役所、町役場などに設けられています。
 (期日前投票所の場所については、栃木県選挙管理委員会のホームページをご覧ください。)
 ※その他、詳しいことは、各市町の選挙管理委員会へお尋ねください。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。)